マニュアル番号	ME-1235

改-1

新日軽

電動ウイングゲート

組立施工マニュアル

施工工務店様、販売店様へ

この手引き書は施工完了後裏表紙に必要事項を記入し、お施主様へお渡しください。

新日軽株式会社

■リモコン

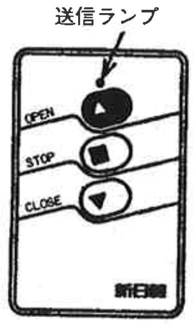
■ご使用方法

リモコンの取り扱いについて

■取り扱い上の注意

- 取り扱いはていねいにしてください。床などに落とすと故障の原因となることがあります。
- 雨など水に濡れないようにしてください。
- 車のダッシュボードの上など、高温の場所に置かないでください。
- ２台以上の送信機を同時に操作されますと、信号を受け付けないことがありますのが故障ではありません。
- 柱上トランクやテレビ・ラジオの送信所付近では、操作可能距離が短くなることがあります。
- 送信機は必ず扉の見える位置で操作してください。

■操作方法

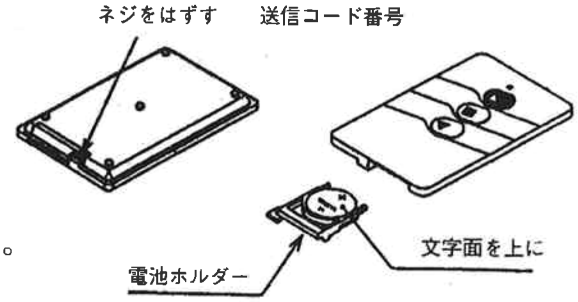


- 送信機をアンテナに向け、ボタンを１秒程軽く押してください。
  押している間、送信ランプが点灯します。
- 操作可能距離はアンテナが見える位置で10m以内です。
  送信機は必ず扉が見える位置で操作してください。
- 車内で操作される時は、窓に近づけてください。

■電池の交換

送信ランプが暗くなったり点灯しなくなったら、新しい電池とお取り替えください。

- 電池はリチウム電池CR2032 3V　１個です。（電気店でお求めになれます。）
- ホルダーにいれる時は、文字のある面を上にしてください。
- ネジは必ず元通り締め付けてください。
- 電池交換後、必ず動作確認をしてください。
- 長期間使用しない時は電池を取りはずして保管してください。



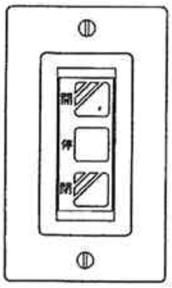
■コード番号

- 送信機裏面にコード番号が貼ってあります。これは、送信機を追加する場合や送信機をなくされた場合など、送信機のみを発注する際に必要となりますので、どこかに控えておいてください。
- 万が一、送信機をなくしてしまい、コード番号の控えもなくしてしまった場合には、配線カバーを上にスライドさせ外し、裏側に数字３桁○○○Fの表示があります。又は、電動柱の制御基盤ボックス内部にコード番号が貼ってありますので、そちらを確認してください。
  （制御基盤ボックスは、非常の場合以外開けないでください。）

リチウム電池

柱スイッチの操作方法

- 扉の開閉は、柱スイッチでも操作できます。



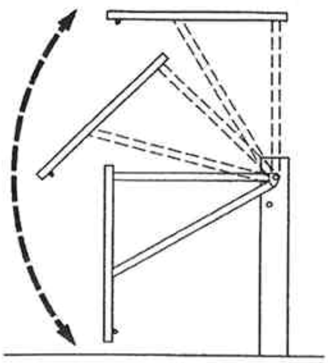
開　：扉が開きます。

停　：モーターが停止します。

閉　：扉が閉じます。

注）風雨や積雪を考慮して設定してあります。
取付け・施工状態・サイズによっては
下から約60°～80°の範囲において STOP
停 ボタンの操作を行なっても停止せず
開状態になる事がありますが誤作動、
故障ではありません。

停電又は緊急時の手動による操作



扉の下、或いは引手等を持って静かにゆっくり上げ、下げしてください。
注）緊急時以外は手動による開閉は、極力避けてください。
通常は、柱スイッチ、リモコンにて電動で開・閉をしてください。

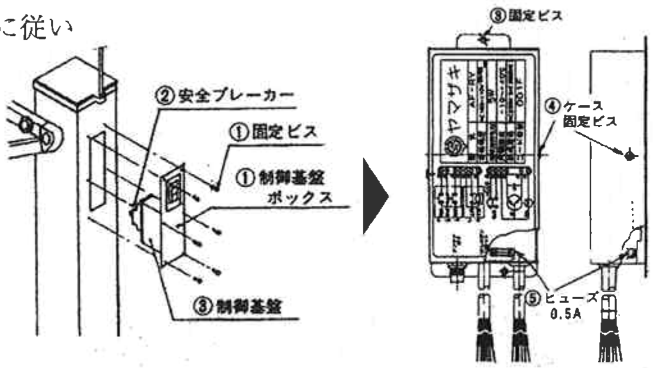
落雷や停電の後、作動しない場合

落雷や、落雷による停電の時、屋内のブレーカーや電動柱内のブレーカーが落ちたり、ヒューズが切れる事が有りますので、下記項目をご確認ください。

確認事項		対　処
1	屋内ブレーカーの確認	ブレーカーを復帰してください。
2	柱内安全ブレーカーの確認	ブレーカーを復帰してください。
3	制御基盤ヒューズの確認 （下図参照）	ヒューズが切れていましたら、添付のスペアヒューズと交換してください。 スペアがない場合は、0.5A（アンペア）と指定の上、電気店等でお買い求めください。

安全ブレーカー及びヒューズの確認の仕方

①制御基盤ボックスの固定ビスを外し、ボックスを引き出してください。
②安全ブレーカーが上向き(ON)か、下向き(OFF)か確認してください。
　下向き(OFF)の場合、復帰してください。
　上向き(ON)の場合は、下向きにした後下記手順に従いヒューズを交換してください。
③制御基盤の固定ビス上下２本を外してください。
④ケース固定ビス２本を外してください。
⑤ヒューズが切れていないか、確認してください。
⑥ヒューズを交換してください。
⑦安全ブレーカーを復帰(ON)にしてください。



■仕　様

入力電圧	AC100V(50/60Hz)
消費電力（動作時）	60W(50Hz) . 59W(60Hz)
モーター定格出力	25W
周囲温度	0℃～60℃
開閉時間	7～10秒(50Hz) 6～9秒(60Hz)
操作方法	押しボタン、リモコン

■おわりに

以上で取付けは完了ですが、お客様に正しく取り扱っていただくために、当マニュアルをお渡しいただき、使用方法、メンテナンス等の説明をしてください。